

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 4 3 号
件 名	B R T 計 画 白 紙 撤 回 ・ 見 直 し と 税 金 の 無 駄 遣 い を 抑 制 す る こ と を 求 め る こ と に つ い て
要 旨	<p>一昨年、平成 25 年 12 月議会では、連節バスの購入議案について 12 月 20 日の本会議の反対討論でのやりとりで、連節バスの必要性が一かけらもなく、採決に値しない本来取り下げのべき議案であると結論づけられましたが、採決の結果 32 対 20 で議案は可決されました。</p> <p>その後、昨年 11 月の新潟市長選挙では B R T 計画が最大の争点となりました。その結果は、B R T 中止（齋藤候補）と白紙撤回（吉田候補）の得票が合わせて 64% で、B R T 賛成（篠田候補）の得票 36% を大きく上回り、B R T 中止・白紙撤回の民意が示されました。</p> <p>また、市長が選挙結果の民意を市民が誤解しているとして新潟市が行った市民意識調査では、B R T 反対が 60%、賛成が 14% の結果でした。</p> <p>しかし、B R T 計画はそのまま続行されています。</p> <p>昨年 12 月議会では、B R T 白紙撤回請願が採決の結果、民意が反映されず否決されました。</p> <p>1 つ戻って、前記平成 25 年 12 月 20 日本会議反対討論で結論づけられた内容からすると以下、</p> <p>B R T 計画は連節バスの必要性がなく、普通バスでも連節バスと同じく国から補助金が出る。朝のピーク時の萬代橋を越える乗客輸送は、直行便も合わせ普通バスの運行で乗り残しなく 1,500 人の乗客を運べる。そして、普通バスの運行であれば道路改良や専用レーンも要らなくなり、税金の無駄遣いが抑制される。</p> <p style="text-align: right;">（裏面につづく）</p>
付 託 年月日 委員会	平成 27 年 3 月 3 日 第 1 項 第 2 項 } 環境建設常任委員会
受 理	平成 27 年 2 月 26 日 第 6 9 1 号

B R T計画は第1期に30億円、第2期に40億円、合わせて70億円が予定されており、民意からすると税金の無駄遣い事業ではないかと思われます。

よって、議会に以下のことを求める陳情をします。

記

- 1 民意を尊重し、B R T計画を白紙撤回して普通バスでの運行などの見直しをすること。
- 2 新潟市には1兆円もの借金があり、B R T計画は不必要な連節バスに頼らず、普通バスの運行などで税金の無駄遣いを抑制すること。